

ミズナラ

Quercus crispula

ブナ科



ミズナラ

名前の由来

「ミズ (水)」は多量の水が含まれ、容易に燃えないため。「ナラ」は朝鮮半島南部の方言「kalak-nam (nam=木)」というものがあり、この「kalak」がなまってナラになったという説がある。(満鮮植物字彙) 漢字名：水栴

形態的特徴

樹高30m、太さ1m。材は硬く、木目が美しい。葉は倒卵状長楕円形、長さ7~20cm、大きな鋸歯縁、基部は徐々に狭くなり、耳状となつてごく短い柄になる、互生する。花は、雄花序は黄緑色で尾状、長さ6~8cmで新枝の下部に下垂する、雌花序は新枝上部の葉腋に1~3花つき黄緑色、5~6月に開花。果実(ドングリ)は長楕円形~楕円形、長さ約2cm、総苞片はかたく密に覆瓦状に並ぶ。総苞(殻斗。ドングリの「帽子」)は杯状で径約15mm、9~10月に成熟、初め緑色でのちに褐色になる。

類似種との見分け方：ミズナラの枝先には毛がないのに対し、カシワの枝先には毛がある。また、ミズナラの葉の表面がツルツルなのに対し、カシワはザラザラ。ミズナラの葉裏の毛が少ながカシワは密に生える。ミズナラの葉の先やギザギザはややとがる。ミズナラの総苞(ドングリの「帽子」)の総苞片は瓦状に並ぶが、カシワのものは柔らかい棘状で反り返りささくれる。



ミズナラの葉。大きなギザギザ。表面はツルツル、裏の毛は少ない



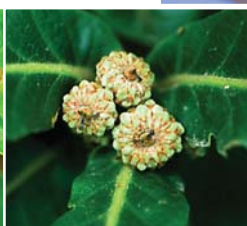
ミズナラの冬芽。 ミズナラの枝先の葉毛がない(上)



ミズナラの雄花 (垂れている)



ミズナラの雌花



ミズナラの結実前



ミズナラの実(ドングリ)



ミズナラの殻斗(帽子)



カシワの殻斗(帽子)



ミズナラの樹形。カシワより枝先が繊細



ミズナラの樹皮。縦に不規則に裂け、ゴツゴツ

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期		■										
結実期						■						

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

生育環境・分布

山地に多いが海岸まで生える。

分布：国外分布は、千島、樺太。国内分布は、北海道、本

州、四国、九州。北海道内分布は、全域。

十勝地方生育状況は、全域。段丘上によく見られる。

繁殖生態・寿命

5～6月に開花。果実はドングリは長楕円形～楕円形、長さ約2cm、総苞片はかたく密に覆瓦状に並ぶ。総苞（殻斗。ドングリの「帽子」）は杯状、径約15mm、9～10月に成熟、初め緑色で後に褐色。種子は動物散布。寿命は300～400年。

樹齢254年の標本がある（新王子林木育種場 標本館）。また、士幌町上音更には推定樹齢800年以上のミズナラがある。

他生物との関わり

ダイセンシジミ、アカシジミ、エゾミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ、アイノミドリシジミ、ウスイロオナガシジミ、ウラジロミドリシジミ、ウラミスジシジミ、オオミドリシジミ、キタアカシジミ、ハヤシミドリシジミ、ミ

ズイロオナガシジミ、ミヤマセセリの幼虫の食樹となる。ドングリはネズミ類やカラス類、クマ等に利用される。穴の開いたドングリにはゾウムシの幼虫がいる。種子は動物散布。



ジョウザンミドリシジミ。
ミズナラを食樹とする
(標本-吉原利之氏所蔵)



エゾアカネズミ。
ミズナラの種子を
餌とし、種子分散
にも寄与する

植栽関係

土壌：壤土、適潤性～耐湿性、通気の悪い土でも耐える、pHは耐酸性、堅密度は堅くても耐える。陽性木。樹齢50年で、直径24cm、樹高10m、根系の最大深度170cm、根の広

がり半径1.5m。根の支持力は強い。移植は中程度の難度、低地では困難。切り株からは萌芽することが多いが、挿し木では活着しない。

興味深い話

- ナラ類の材では最も一般的に用いられ、住宅の階段や手すり、床板などの建築材や高級家具材、枕木、靴形、楽器・樽材などの器具材、船舶材、薪材などに用いられる。公園樹、椎茸の原木などにも用いられ、樹皮は染料に利用。
- 欧州では家具材はオーク（ナラやカシ）に勝るものはないといわれ、ウイスキーや葡萄酒、ブランデーの樽はナラ材に限られているという。
- 十勝地方のアイヌ語では「ペロ」という。



種子（ドングリ）をつけたミズナラ

配慮事項

樹齢50年で、直径24cm、樹高10m、根系の最大深度170cm、根の広がり半径1.5m。根の支持力は強い。移植は中程度の

難度、低地では困難。挿し木では活着しない。

参考文献

「図説花と樹の大事典」木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996
 「新装版 樹木根系図説」荻住昇 誠文堂新光社 1987
 「北海道 樹木図鑑」佐藤孝夫 亜瑠西社 1990
 「新版 北海道の樹」辻井達一・梅沢俊・佐藤孝夫 北海道大学図書刊行会 1992
 「樹木大図鑑」高橋秀男監修 北隆館 1991
 「天然林施業Q&A」石塚森吉ら 北方林業会編 pp.107-108 1988
 「森林で遊ぼうシリーズ1 おもしろい木の話」北海道立林業試験場 監修 北海道林業普及協会 1996

「アイヌ植物誌」福岡イト子 草風館 1995
 「日本のチョウ」上野明雄 小学館 1981
 「北見の蝶」木村辰正 北見市教育委員会 1994
 「昭和61年度 アイヌ文化財調査報告書（アイヌ民俗調査VI）」北海道教育庁社会教育部文化課（編）、北海道教育委員会 1987
 萌芽更新を利用した広葉樹の施業 佐藤俊彦：光珠内季報116 p:14～p:17 1999
 緑化樹の用土別によるさし木発根成績 吉川栄二 光珠内季報23号 p:11～p:13 1975

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(鳥辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ